

全国銀行協会制定のレコードフォーマット

北洋システム開発株式会社

代金回収部

目次

1. 全国銀行協会制定のレコード・フォーマット	1
(1) 各レコードの内容	1
① ヘッダー・レコード	1
② データ・レコード	2
③ トレーラー・レコード	3
④ エンド・レコード	3
(2) レコードの作成	4
① レコードの作成順序（シングル先）	4
② レコードの作成順序（マルチ先）	4
(3) 個人名、会社名の記入方法について	4
(4) 略語の使用方法	5
2. HSD ダイレクトで使用できる文字	7
(1) 数字（10 種類）【半角】	7
(2) カナ文字（45 種類）【半角】	7
(3) アルファベット（26 種類）【半角】	7
(4) 濁点、半濁点（2 種類）【半角】	7
(5) 記号（4 種類）【半角】	7

1. 全国銀行協会制定のレコード・フォーマット

預金口座振替（依頼明細、処理結果明細）のレコード・フォーマットは、全国銀行協会制定が定める基準に準拠しています。

(1) 各レコードの内容

①ヘッダー・レコード

項番	項目名	属性	桁数	内容
1	データ区分	N	1	1：ヘッダーレコード
2	種別コード	N	2	91：預金口座振替
3	コード区分	N	1	0：JISコード
4	委託者コード	N	10	当社で割り当てた委託者コード
5	委託者名	C	40	カナ文字および英数字（左詰め） 大文字のみ使用可
6	引落日	N	4	当社作成の年間スケジュール表の振替日（MMDD） （銀行休業日の場合は翌営業日）
7	取引銀行番号	N	4	委託者の取引銀行コード
8	取引銀行名 *	C	15	委託者の取引銀行名 カナ文字および英数字（左詰め） スペース可
9	取引支店番号	N	3	委託者の取引銀行支店コード
10	取引支店名 *	C	15	委託者の取引銀行支店名 カナ文字および英数字（左詰め） スペース可
11	預金種目	N	1	委託者の取引銀行口座の預金種目 1：普通預金 2：当座預金
12	預金口座番号	N	7	委託者の口座番号
13	予備	C	17	スペース

②データ・レコード

項番	項目名	属性	桁数	内容							
1	データ区分	N	1	2：データレコード							
2	取引銀行番号	N	4	預金者の銀行番号							
3	取引銀行名 *	C	15	預金者の銀行名 カナ文字および英数字（左詰め） スペース可							
4	取引支店番号	N	3	預金者の支店番号							
5	取引支店名 *	C	15	預金者の支店名 カナ文字および英数字（左詰め） スペース可							
6	予備	C	4	スペース							
7	預金種目	N	1	預金者の取引銀行口座の預金種目 1：普通預金 2：当座預金							
8	口座番号	N	7	預金者の口座番号							
9	預金者名	C	30	カナ文字および英数字（左詰め） 大文字のみ使用可							
10	引落金額	N	10	引落請求金額（右詰め前ゼロ）							
11	新規コード	N	1	1：1回目の請求データの場合 2：変更分 0：その他							
12	顧客番号 *	N	20	貴社使用の顧客番号（右詰め前ゼロ）							
13	振替結果コード	N	1	請求時は0（ゼロ） 返却時は銀行で振替結果コードをセット <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>0…振替済み</td></tr> <tr><td>1…資金不足</td></tr> <tr><td>2…預金取引なし</td></tr> <tr><td>3…預金者の都合による振替停止</td></tr> <tr><td>4…預金口座振替依頼書なし</td></tr> <tr><td>8…委託者の都合による振替停止</td></tr> <tr><td>9…その他</td></tr> </table>	0…振替済み	1…資金不足	2…預金取引なし	3…預金者の都合による振替停止	4…預金口座振替依頼書なし	8…委託者の都合による振替停止	9…その他
0…振替済み											
1…資金不足											
2…預金取引なし											
3…預金者の都合による振替停止											
4…預金口座振替依頼書なし											
8…委託者の都合による振替停止											
9…その他											
14	予備	C	8	スペース							

③トレーラー・レコード

項番	項目名	属性	桁数	内容
1	データ区分	N	1	8:トレーラーレコード
2	合計件数	N	6	データ・レコードの合計件数
3	合計金額	N	12	データ・レコードの合計金額
4	振替済件数	N	6	請求時は、すべて0(ゼロ) 返却処理後、振替済件数を当社でセット(前ゼロ)
5	振替済金額	N	12	請求時は、すべて0(ゼロ) 返却処理後、振替済引落金額合計額を当社でセット (前ゼロ)
6	振替不能件数	N	6	請求時は、すべて0(ゼロ) 返却処理後、振替不能件数を当社でセット(前ゼロ)
7	振替不能分金額	N	12	請求時は、すべて0(ゼロ) 返却処理後、振替不能引落金額合計額を当社でセット (前ゼロ)
8	予備	C	65	スペース

120

④エンド・レコード

項番	項目名	属性	桁数	内容
1	データ区分	N	1	9:エンドレコード
2	予備	C	119	スペース

120



- ・ *が付いた項目は任意項目(省略可)です。
- ・ 属性の「N」は数字項目、「C」は英数カナ項目を表します。
- ・ 数字項目「N」は右詰めで、残りを「0(ゼロ)」として下さい。
- ・ 英数カナ項目「C」は左詰めで、残りをスペースとして下さい。

(2) レコードの作成

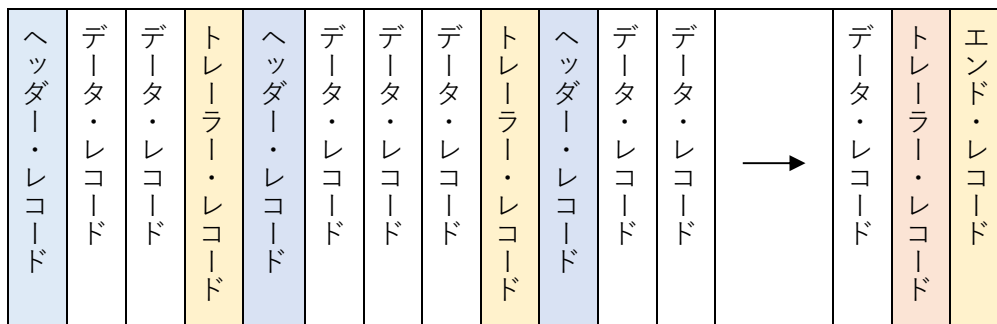
①レコードの作成順序（シングル先）

シングル先：ヘッダレコードが1つのファイル



②レコードの作成順序（マルチ先）

マルチ先：ヘッダレコードが複数のファイル



- ・ データ・レコードの作成順序は順不同で問題ありません。
- ・ 結果返却時は、請求時と同順序で戻ります。
- ・ 金額ゼロのデータは作成しないで下さい。
- ・ 「②レコードの作成順序（マルチ先）」は、マルチ契約の場合のみ利用可能です。

(3) 個人名、会社名の記入方法について

個人の姓と名、法人の種類と名称、法人名と営業所名とは、それぞれの間にスペースを入れて分ち書きをして下さい。ただし、略語を使用する場合には、「(4) 略語の使用法」に則り、スペースに替えてカッコを使用して下さい。

(例)

- ・ 個人の場合
札幌 太郎
→ サツボロ タロウ
- ・ 法人の場合
株式会社 札幌商店東支店
→ か)サツボロ ショウテン ヒガ シテン

(4) 略語の使用法

法人・営業所および事業所の種類名は、次の用法に基づき略語を使用することができます。

- 法人略語および営業所略語は、略語判別表示としてカッコを使用します。なお、事業略語には略語判別表示を使用しないでください。

(例)

→ カ)サツホ°ロシヨウジ°
 → サツホ°ロシヨウジ°(カ)ヒカ°シ(エイ
 → サツホ°ロシヨウジ°(カ

- 略語の使用は、1 法人名につき 1 個です。ただし、法人略語、事業略語および営業所略語のそれぞれを組合せて併用することができます。

(例)

・ 法人略語と事業略語および営業所略語の併用
 平成火災海上保険株式会社 札幌営業所
 → ^ヒカサイ(カ)サツホ°ロ(エイ

- 事業略語は、最も包括的な略語を使用して下さい。

● 略語を使用することができる用語および略語

用語	カナ略語	用語	カナ略語
1. 法人略語		2. 営業所略語	
株式会社	カ	営業所	エイ
有限会社	ユ	出張所	シュツ
合名会社	メ		
合資会社	シ	3. 事業略語	
合同会社	ド	連合会	レン
医療法人	イ	共済組合	キヨウサイ
医療法人社団	イ	協同組合	キヨウクミ
医療法人財団	イ	生命保険	セイメイ
社会医療法人	イ	海上火災保険	カイジ ヨウ
財団法人	ザイ	火災海上保険	カサイ
一般財団法人	ザイ	健康保険組合	ケンホ
公益財団法人	ザイ	国民健康保険組合	コクホ
社団法人	シャ	国民健康保険団体連合会	コクホレン
一般社団法人	シャ	社会保険診療報酬支払基金	シャホ
公益社団法人	シャ	厚生年金基金	コウネン
宗教法人	シュウ	従業員組合	ジ ユウクミ
学校法人	ガク	労働組合	ロウクミ
社会福祉法人	フク	生活協同組合	セイキョウ
更生保護法人	ホ	食糧販売協同組合	シヨクハンキョウ
相互会社	ソ	国家公務員共済組合連合会	コクキョウレン
特定非営利活動法人	トキ	農業協同組合連合会	ノウキョウレン
独立行政法人	トク	経済農業協同組合連合会	ケイザイレン
地方独立行政法人	チドク	共済農業協同組合連合会	キヨウサイレン
中期目標管理法人	チキ	漁業協同組合	ギョキョウ
国立研究開発法人	ケン	漁業協同組合連合会	ギョレン
行政執行法人	シヤ	公共職業安定所	シヨクアン
弁護士法人	ベン	社会福祉協議会	シヤキョウ
有限責任中間法人	チウ	特別養護老人ホーム	トクヨウ
無限責任中間法人	チウ	有限責任事業組合	ユウクミ
行政書士法人	ギョ		
司法書士法人	シホ		
税理士法人	ゼイ		
国立大学法人	ダイ		
公立大学法人	ダイ		
農事組合法人	ノウ		
管理組合法人	カリ		
社会保険労務士法人	ロム		

2. HSD ダイレクトで使用できる文字

HSD ダイレクトで請求データを貴社と当社間で授受する場合に使用する文字・記号は、下記のとおりです。

(1) 数字 (10 種類) 【半角】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(2) カナ文字 (45 種類) 【半角】

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン



- ・ 使用できる文字は大文字のみです。
- ・ 小文字の「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」「ヤ」「ユ」「ヨ」は使用できません。

(3) アルファベット (26 種類) 【半角】

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z				



- ・ 使用できる文字は大文字のみです。

(4) 濁点、半濁点 (2 種類) 【半角】

・	゜
---	---

(5) 記号 (4 種類) 【半角】

()	- (ハイフン)	. (ピリオド)	スペース
-----	----------	----------	------



- ・ カナ文字の長音「-」は使用できません。



北洋システム開発株式会社

〒062-0052

札幌市豊平区月寒東 2 条 9 丁目 7 番 1 号

電話 011-856-8081

FAX 011-856-8082

ホームページ <https://www.hsd-hh.co.jp/>